



今月の話題:「二月逃げる, 三月去る」と古諺はいう。はや, その三月に入った。無為に時を過ごしてはならぬと気を引き締める。うかうかすると, 些事の消化に追われて, 時の移り変わりも忘れてしまいがちである。時を失わぬためには暦に残る二十四節気を思い出して, 生活のリズムにこの伝統的な四季感を取り戻すのが良いかもしれない。五日は啓蟄である。花の便りもそろそろだ。梅は咲いたか, 桜はまだかいな…… (伊藤誠三)

□ 本部便り: (金森捷三郎記)

・平成 27 年度の通常総会は 2 月 23 日 (月), 東京大学山上会館にて和田章代表理事議長のもと, 滞りなく終了。引き続き, 松村秀一先生による記念講演「建築 新しい仕事のかたち一箱の産業から場の産業へ」があった。建築界の新潮流として示唆に富むお話しでした。その後, 懇親会が内田祥哉先生のご参加も得て, 賑やかに行われた。

○次回拡大理事会: 5 月 20 日 (水) 18:00~

□ 建築部会: (安部重孝記)

・新宿東宝ビル (旧コマ劇場 地上 30 階) 新築工事作業所・竣工前の見学会を 3 月 2 日 (月) に行います。

・寺子屋本年度第 1 回「特殊建築物等定期調査報告業務の実態について」—建物オーナーと一級建築士のために 3 月 16 日 (月) 講師: 丸山和郎氏。本業務を当会の事業として立ち上げたいのでご参加を宜しくお願い致します。

・錦糸町にて地下施工中建物の近隣への影響について施工業者から第 3 者としての見解を求められ, 対応中です。

・サーツ・モンゴルシンポジウム第 2 回開催について, 国交省, JICA を訪問し, 支援を依頼中です。

○次回建築部会 WG: 3 月 9 日 (月) 14:00~15:30,

建築部会: 3 月 18 日 (水) 17:30~19:00

□ 戸建住宅部会: (阿部市郎記)

・4 月 1 日施行の平成 25 年省エネルギー基準に伴う, 合理化システム長期性能タイプの認定取得各社の新省エネ対応支援業務を施行日に間に合うよう受託, 推進中です。

・住木センターより受託した木材利用ポイント建物追跡調査を全国的に出張, 実施中です。

・大型木質構造建築設計 WEB セミナー: 大型木質構造建築推進のための「木質構造建築設計 Web セミナー 2014」と「ホームビルダー実務向上 Web セミナー 2014」についてはすべて全講義がリリースされています。ホームページより部会会員の聴講申込をお勧めします。会員は無料聴講できます。

○次回部会予定: 3 月 6 日 (金) 18:00~

ショートスピーチ: 渡邊章互氏

□ 集合住宅部会 (小畑晴治記)

・”マンション再生ナビ”とのタイアップ事業を引き続き, 4 月~6 月に 3 回, “建替を前提としない団地再生”の出前講習会を行うことになりました。中層階段室住棟の低コストの昇降装置もそうですが, 耐震補強を必要としている団地であるため, サーツの総合的な技術力が発揮できるチャンスとなることが期待されます。老朽化した団地の高齢化した住民が, 駅近や都心寄りのマンション, 或いは“サービス付高齢者住宅”に引っ越す傾向が急増しているようですが, いずれも見栄えは良くても, 「収納スペースが決定的に不足」しているという現実を忘れがちです。”終の棲家”は, 身近なところにあるのだということを, “建替を前提としない団地再生”で立証できるようにしたいというのが, 集合住宅部会の目指すところ です。

○次回部会予定: 3 月 12 日 (木) 18:00~

□ マンション管理組合支援事業部 (向野元昭記)

・3 月 4 日川口パークタワーマンションにて大規模修繕を行うに当たって, その進め方について修繕委員会にて話をする予定。(向野、丸山)

○次回部会予定: 3 月 12 日 (木) 16:00~18:00

□ LLB 技術研究会 (安孫子義彦記)

・第 5 回プレマルシェ: 3 月 25 日 (水) 午後 3 時から開催。テーマは「アルミサッシ改修下框部品と玄関扉断熱改修部品 (仮題)」を予定。

詳しくはジェス安孫子氏 (03-3263-1150) まで

□ 建築技術誌 3 月号サーツ欄掲載記事

・岡本 直: 「陰翳礼讃」と建築のこれから

・筒井 勲: 伝統的建築探訪記「北陸の旅 (1)」

□ 短信: サーツ事務所のルーターを強化しました。ウイルスや不正アクセスを防ぐため, 更に, 知らないうちに加害者にならぬようにするためです。

□ 余滴: ひなの日や女ばかりのクラス会 (捷三郎)